

## 第 8 回経済産業政策新機軸部会

令和 4 年 4 月 27 日

(株) シナモン 代表取締役社長 CEO 平野未来

本新機軸部会を通じ、新しい資本主義の実現におけるコアとなる分野において、時代に求められる新たな産業政策の要素について議論をした。それらの要素は、「中間整理案」で明記されている。本中間整理案にて明記された産業政策の要素を実現するためには、ブロックチェーン、メタバース、サイバーセキュリティ、ヘルスケア等の海外でも技術開発が進んでいる領域における成長戦略を検討する必要があるが、我が国が世界と競争できる領域を定め、国際競争力とする領域とその他の領域とで分けた上で、具体的な政策を検討する必要性がある。AI 開発のスタートアップの観点より、AI 技術がどのように国際競争力とする領域に貢献できるかについて、以下の具体的な考えを提示する。

AI に近い領域では下記 5 テーマは日本が No. 1 になれる可能性のある領域の整理

領域	日本の優位性	海外の事例	政府の支援
ゲーム系 ブロック チェーン	オープンワールド RPG や「ガチャ」を用いたソーシャルゲームなどの業界のリーダーとして、今後広がるブロックチェーンを用いたゲームをリードするポジションにいる。AI をレギュレーターとして活用することにより、ゲーム会社やユーザーとは独立した形で、ゲーム環境の管理が可能になり、公平で安全なブロックチェーンを用いたソーシャルゲームを開発することが可能となる	Animoca Brands: ブロックチェーンを活用したレーシング系、バトル系、オープンワールド系など、様々なゲームを開発 Sky Mavis: ブロックチェーンを活用した育成系のゲームを開発、デジタルコミュニティの構築	規制の緩和/明確化 マネーロンダリングにならないようライセンスを配布など ブロックアップの仕組みをセントラライズ
ハイエンド 農業	日本のハイエンドな野菜・果物を作る属人的スキルを AI に学習させ、海外で育成・提供	Oisii: ニューヨークにて、垂直農業を活用し、日本のイチゴをアメリカに販売 Bowery Farming: 室内で農作物を育て、新鮮な商品を提供	海外への輸出含め、D2C の促進と政府によるオーソライズ

レジリエンス	自然災害の多い国として、素材・建築、ドローン、シミュレーションなどの IT・AI 技術は、今後グローバルに災害が増える中、経済的ポテンシャルだけでなく外交としても活用可能	One Concern : AI を活用した災害リスクの分析や可視化	発注及び実用化への支援
Age Tech	世界で最も高齢化が進んでいる	Altos Labs: 若返り系の技術開発 Insilico Medicine: AI を活用し新薬の R&D を加速	規制の緩和/明確化、承認プロセスのデジタル化による加速
少量多品種ものづくり	難易度の高い少量多品種の QA プロセスをレベルの高い状態でオペレーション化できる可能性がある	FabFoundry: 日本の職人をアメリカで商品開発を試みている事業者とマッチングするハブ	オープンイノベーションの支援